

岩手県 **こども** モニター

令和7年度 アンケート(第一回)

ほうこくしょ

報告書



令和7年10月

せいさくきかくぶ こうちょうこうほうか

岩手県 政策企画部 広聴広報課



1 アンケートの概要

がいよう 

きかん
アンケート期間

令和7年9月2日(火)～9月25日(木)

かいとう
回答した人数

105人

答えてくれた人の割合

94.6% (105人/111人)

アンケート方法

インターネットによるモニター ちようさ調査

テーマ

1. こどもたちに震災しんさいを伝えることについて
2. 環境かんきようについて
3. こどもの権利けんりが守られ、こどもが大切に育てられる
岩手を目指すために
4. 岩手県はたらで働くことについて



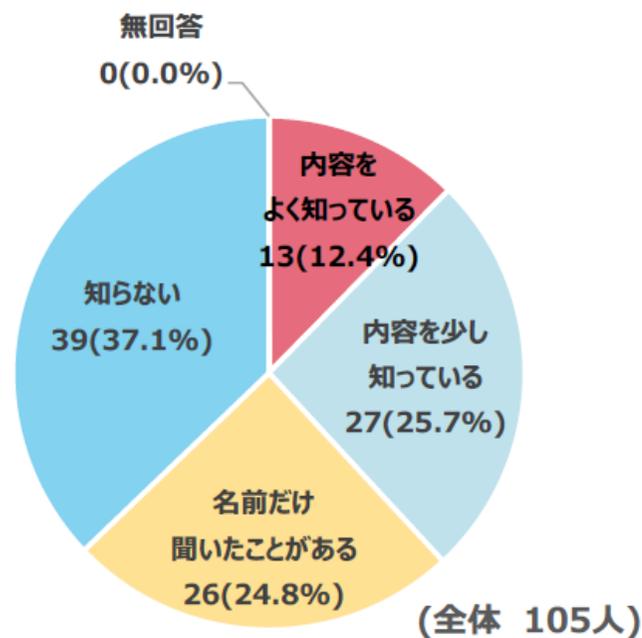
5 調査結果

テーマ3：こどもの権利けんりが守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために



問1 あなたは、こどもの権利けんりを世界のみんなが守るために定められた「こどもの権利条約けんりじょうやく」を知っていますか。(一つ選んでください)

- こどもの権利条約けんりじょうやくについて、「内容をよく知っている」は13人(12.4%)にとどまりました。
- 一方で、「内容を少し知っている」27人(25.7%)と「名前だけ聞いたことがある」26人(24.8%)をあわせると、半数をこえる人が存在そんざいを知っていることがわかります。
- ただし、「知らない」と答えた人も39人(37.1%)と多く、今後さらに広めていく必要があります。



5

調査結果

けんり

テーマ3：こどもの権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために



けんり

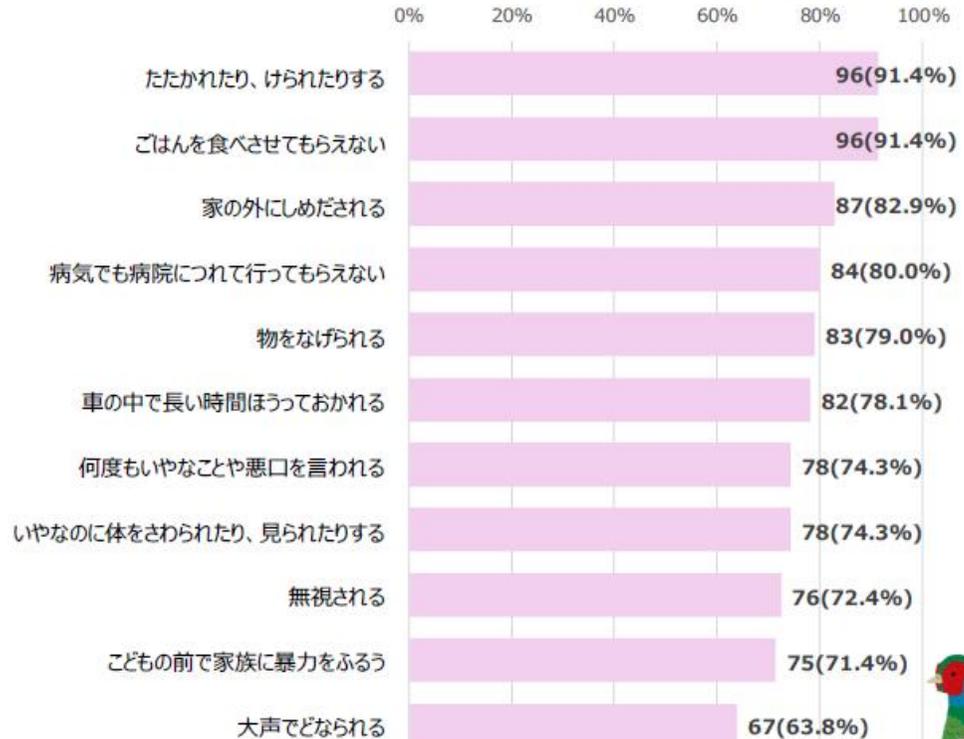
ぎゃくたい

ぎゃくたい

問2 こどもの大切な権利をうばう「虐待」について、あなたが「虐待」だと思うことはなんですか。(いくつでも選んでください)

えら

- 「たたかれたり、けられたりする」「ごはんを食べさせてもらえない」はともに96人(91.4%)で、9割以上の人が虐待にあたると思っています。
- いずれの行動も虐待ととらえる人が6割をこえており、さまざまな行動がこどもの大切な権利をうばうことにつながると考えられていることがわかります。



(全体 105人)



5

調査結果

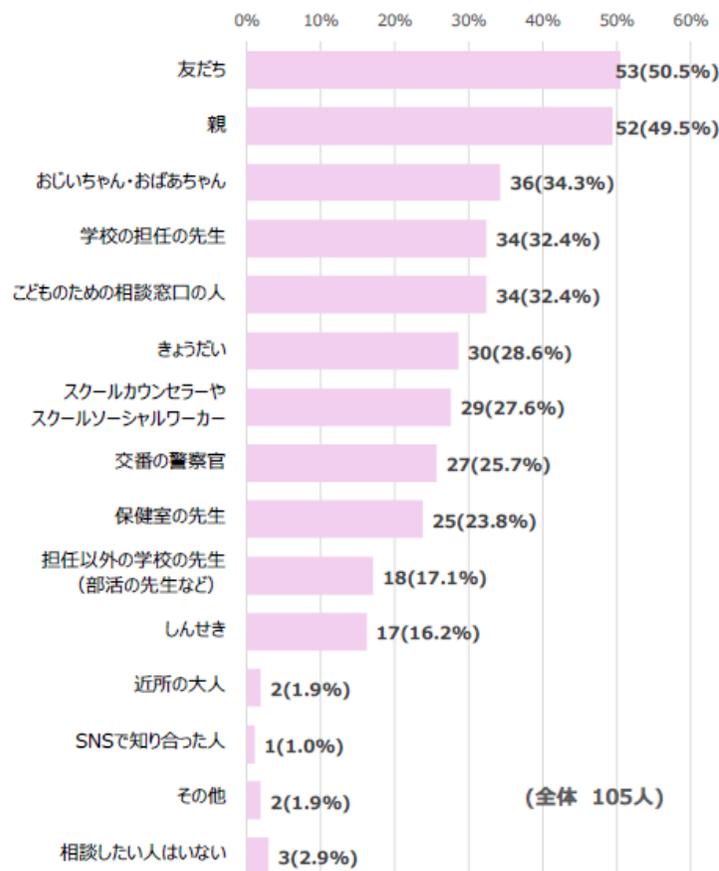
けんり

テーマ3：こどもの権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指するために



問3 もし、あなたが問2で「虐待だと思う」と答えたことを大人からされたとき、だれに相談したいですか。(いくつでも選んでください)

- 虐待を受けたときの相談相手として、「友だち」が53人(50.5%)と最も多く、ついで「親」が52人(49.5%)となっています。また、「おじいちゃん・おばあちゃん」や「学校の担任の先生」など身近な信頼できる大人をあげる人も多くみられました。
- 一方で、「こどものための相談窓口の人」「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」「交番の警察官」など、公的な相談先を選ぶ人も3割くらいいました。
- 「その他」では、『AI』、『友達の場合は、本当になんでも話することができる友達』などの回答がありました。



5

調査結果

けんり

テーマ3：こどもの権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指するために



ぎゃくたい

問4 虐待がおこらないような社会にするために、大人たちはどんなことをすればよいと思いますか。(いくつでも選んでください)

えら

ぎゃくたい

- 虐待がおこらないような社会にするために必要なことについて、「親がこまったときに安心して相談できる場をふやす」が79人(75.2%)と最も多くなりました。
- ついで、「親が子育てで大変なときに使えるサービスをふやす」や「こどもがこまったときに安心して相談できる場をふやす」など、支援サービスや相談場所をふやすことが大切だと考える人も多いことがわかりました。
- 「その他」では、『虐待しないように経済的な余裕と心の余裕を持つ』などの回答がありました。

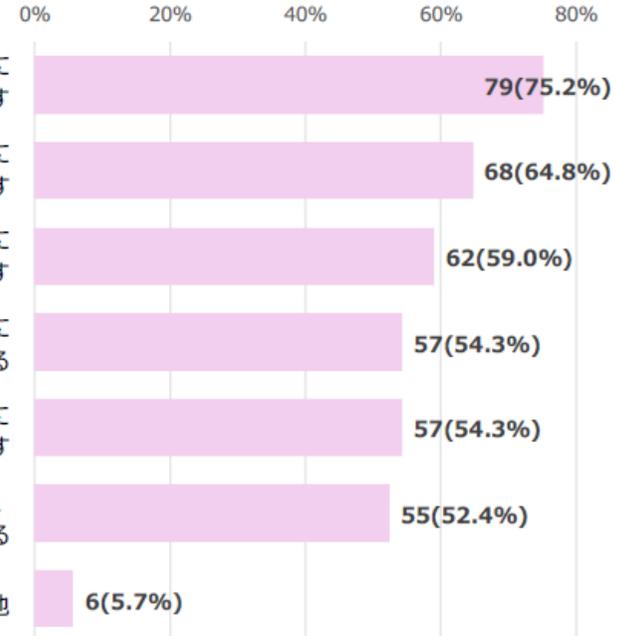
ぎゃくたい

けいざいてき よ

ゆう

よゆう

かいとう



(全体 105人)



5 調査結果

テーマ3：こどもの^{けんり}権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために



ぎゃくたい
問5 虐待を受けているかもしれないこどもを助けるために、大人たちは
どんなことをすればよいと思いますか。(いくつでも^{えら}選んでください)

- ぎゃくたい
• 虐待を受けているかもしれないこどもを助けるために必要なこととして、「こどもが相談したときに、ちゃんと話をきいてくれる人をふやす」が^{もっと}79人(75.2%)と最も多くなりました。
- ぎゃくたい
• 「こどもに虐待について相談できる人や場所があることを教える」「こどもに相談することはわるいことでも、はずかしいことでもない^{かんきょう}と伝える」など、こどもが安心して声をあげられる^{かんきょう}環境づくりを重視する回答も多くみられます。
- 「その他」では、『相談電話を、学校や公民館^{こうみんかん}などのあまり人に聞かれないところにこっそりおく』^{かいとう}という回答がありました。

